

平成25年度 大阪市立横堤中学校「校長戦略予算」実施報告

1. 校長戦略予算のねらい

大阪市教育振興基本計画の中において、本市の課題の一つとして「将来の夢や目標を持っていると答える児童生徒の割合は減少している状況が見られ、あこがれの人物から教えを受けたり本物の文化に触れたりするといった体験的な活動のさらなる充実を図る必要があります。」と掲げられている。本校においても、学力・体力はともに一定の水準に達しているが、生徒一人ひとりが未来の自分を見つめ自立していこうとする力においては課題がある。

そこで、学校運営に関する計画の年度目標の一つとして、「生徒アンケートにおける『将来の夢や目標を持っていますか』の項目について『当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）』と答える生徒の割合を70%にする。(カリキュラム改革関連)」と掲げ、道徳教育を充実する中で、キャリア教育と体験的な活動に重点をおいて取組を進める。

2. 予算ならびに決算報告（2月末現在）

	予算額	支出額	残額	
報奨金	317,600 円	317,600 円	0 円	講師謝礼金
消耗品	8,000 円	5,250 円	2,750 円	白表紙
通信運搬費	94,400 円	88,150 円	6,250 円	交通費
合 計	420,000 円	411,000 円	9,000 円	

3. 取組内容

(1) 大学教授実技講習会

日時：8月6日（火）

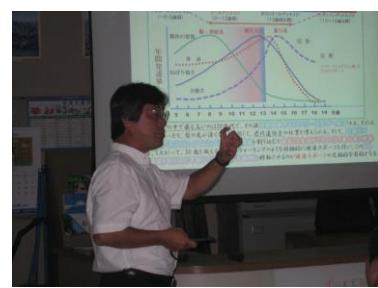
対象：運動部員（1・2年生）

講師：関西大学人間健康科学部 河端隆志教授

関西大学人間健康科学部 河端研究室学生4名

内容：基礎体力作りにための用具を活用したトレーニング（実技）

スポーツ動作がうまくなるランニングフォーム（実技・座学）



(2) 大学教授出前授業①

日時：9月3日（火）

対象：3年生

講師：関西大学人間健康科学部 河端隆志教授



内容：「正しいウォーキング・ランニングフォーム、無駄のない身体の使い方」

というテーマで、身体の構造、筋肉の動かし方、無駄のないランニングフォームについて、マラソン選手の走っている映像などをまじえながら学習した。

(3) 大学教授出前授業②

日時：9月3日（火）、9月9日（月）、10月7日（月）

対象：3年生

講師：大阪市立大学工学部建築学科・宮本佳明教授（建築家）

京都精華大学デザイン学部建築学科・京都造形芸術大学空間演出デザイン学科・寺尾文秀講師

内容：

1回目 自然環境や様々な条件の中で地震や風など自然の力に耐える建物の構造や設計の工夫を学習した。

2回目 画用紙を使い、前回学習した内容を活用して「美しく長い橋」をグループごとに作成した。

3回目 「美しく長い橋」を完成させ、グループごとに作品の特徴やコンセプトをプレゼンし、教授より審査を受けた。



(4) 進路講話

日時：9月13日（金）

対象：3年生

講師：菅公学生服株式会社人事部人材開発課 千綿智恵

内容：企業が求める人材、社会人としての心構えや身に着



けておかなければならぬマナー、面接試験での注意事項について学習した。

(5) 看護師出前授業

日時：12月13日（金）

対象：2年生

講師：愛染橋病院看護師 永田貴子・植本由紀子
聖バルナバ病院看護師 井西理恵



内容：新生児人形（体重3Kg）の抱っこ、妊婦体験ジャケット（重さ12Kg）の装着を体験し、その後、第2次性徴や妊娠・出産、中学生として知っておかなければならない性の知識について、DVDや講話を聴き、「命の大切さ」について学習した。

(6) 職業講話

日時：1月31日（金）

対象：1年生

講師：トップアスリート シドニー・アテネオリンピック
シンクロナイズドスイミング銀メダリスト 翼樹理
アーカス総合法律事務所弁護士 松木俊明
毎日新聞社編集局写真部記者 山田尚弘
愛染橋病院看護師 永田貴子
翔希空調工業株式会社代表取締役 大隈正吾
菅公学生服株式会社大阪営業所第2販売課 酒井秀明
鶴見警察署地域2係 巡査

内容：各自が希望する職種の中から2つを選択し、「働くこと」について学習した。講師の方々から、これまでの経験や仕事を通して学んだこと、学生時代の話や今の仕事についてきつかけなどについて聴き、社会人としてどうあるべきか、今何をしなければならないのか、ということについて学習した。



(7) 大阪体験

日時：2月14日（金）

対象：2年生

見学施設：天王寺動物園、津波・高潮ステーション、大阪歴史博物館

科学技術館、大阪市立科学館

内容：班別行動により本市の公共施設や環境学習施設を体験することや大阪の歴史触れることにより、地域社会の一員としての自覚を持つとともに、自分たちが住む大阪について学習した。

4. 成果と課題

1月に全生徒を対象に実施した『学校生活に関するアンケート』において、「将来の夢や目標を持っている」の設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という肯定的な回答が70.5%となり、当初の目標は達成することができた。しかし、保護者対象の『学校の教育活動に関するアンケート』においては、「お子様は、将来の夢や目標を持っている」の設問に「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」という肯定的な回答が69.1%、「学校は、将来の夢や目標を持てるよう取り組んでいる」の設問に肯定的な回答が69.5%に留まった。

今年度は、校長戦略予算を活用し、これまで取り組んできた「職場体験」の事前事後の取組として、1年で「職業講話」、3年で「進路講話」「大学教授出前授業」に取り組み、系統的、体系的なキャリア教育の基盤を作ることができた。生徒アンケートの上記項目にかかる学年別の結果からも伺われるよう、1年、3年で肯定的な回答が高く、今後、さらなる充実を図りたい。

また、今年度は体験的な活動に重点をおき、これまで取り組んできた大阪体験学習、地域体験学習、オリンピックメダリストによる水泳特別授業、福祉体験学習、多くの体験学習を取り入れた3年修学旅行・2年一泊移住に加え、老人クラブの方々を講師に招いた横堤・鶴見区の歴史・昔の生活を学ぶ「地域体験学習」、2年では命の大切さについて学ぶ「看護師出前授業」に新たに取り組んだ。

1月に実施した「横堤中学校生徒10カ条」のアンケート結果から、「人の話をしっかりと聞く」の設問で「できた」「どちらかといえばできた」という肯定的な回答が82.5%、6月に実施した結果よりも5.1%上昇した。また、「人を思いやる優しい心を持つ」の設問では肯定的な回答が89.2%で6月より13.3%上昇し、「ありがとう、感謝の気持ちを忘れない」の設問では肯定的な回答が89.5%で6月より10.0%上昇した。様々な体験や、多くの人から学ぶことにより、知識の習得だけではなく、規範意識や情操を養い、心の成長の面でも成果が見られたと考えられる。今後も、地域や社会の協力を得ながら、生徒一人ひとりの学習意欲を高めるとともに、保護者や地域の願いにこたえられるような教育活動の推進のため、今年度の取組をさらに充実し、継続的に取り組んでいく。